

後期高齢者医療制度などで懇談 日本共産党市議団と上越医師会

日本共産党議員団は11日、約1時間にわたって上越医師会の幹部の方と懇談させていただきました。介護保険などで個人医院の先生と意見交換させていただいたこととはありますが、医師会とは初めてです。主たるテーマは4月に



スタートした後期高齢者医療制度です。医療現場の医師会の方々がいま、何を考えておられるか。ぜひお聞きしたいと思っております。(写真は医師会館にて)

後期高齢者医療制度の問題では、「(老人保健制度は)このままでは維持できないので、何とかする必要があったと思うが、今回の制度は方法論として失敗だった」「何もしないのに報酬をくれる後期高齢者医療診療料(担当医制)はいやな感じだ」「延命治療をどうするかは、どこの医者も患者の家族と話し合っている。しかし、これをすればお金(終末期相談支援料)になるというのは抵抗感がある。とても使う気になれない」など率直なご意見をお聞きしました。

地域医療の問題として行政に何を望みますかと質問したところ、いくつも帰ってきました。「中小病院における医師確保対策に力を貸してほしい。大病院と格差がある」「休日夜間診療所はやってもらっても来ない。行政はもっとPRを」「特定健診は現場で混乱があった。吉川区などのように、すでに終わった地区では前年より3割くらい受診率が落ちている。国保関係者でない人たちへの宣伝も、(市民の健康を守る立場で)

やってもらいたい」。いずれも大切なことばかりでした。

医師会の方から懇談会に参加していただいたのは副会長さんなど4名でした。「議会関係者とのこうした懇談はこれまでなかった。今後ともこういう機会をつくってほしい」とも要望されました。これは議長にも伝えておかねばなりません。懇談はとても有意義なものでした。

遊ランドの利用者数、順調な伸び……昨年度の実績

6月市議会第三セクターの平成19年度の経営状況が報告されました。そのなかには、吉川区内にある(株)ゆつたりの郷、(株)みなもとの郷も含まれています。

このうち、(株)ゆつたりの郷は類似施設の増加などで入館者数が減ったものの、一般管理費の削減などの企業努力で当期純利益を36万3716円としました。同社の昨年度の入館者数は8万1958人。前年度と比べて10・8%減っています。



【ヤマブキショウマ】バラ科。山すそで黄白色の花を咲かせています。若芽はトリアシショウマと同じく山菜として食べられます。(10日、上川谷にて撮影)

(株)みなもとの郷の場合は、体験者と見晴らし荘の利用者が減りましたが、それ以外では順調に伸び、当期純利益を14万5105円としました。同社の累積欠損額は428万6294円と少し減りました。

スカイトピア遊ランドは宿泊、休憩ともに伸び、体験交流センターなどを含めた全体利用者数は9115人を記録しました。前年度比9・5%増です。(株)杜氏の郷については昨年12月議会でも報告済みです。



笹寿司。遊ランドで出された料理のひとつ。笹の匂いがとてもいい。

23日午前…一般質問 24日午後…総括質疑

私の一般質問は23日の午前10時30分過ぎから12時の間に行われます。妊婦健診、農業政策などで質問します。

24日午後には直江津図書館・社会教育館整備で総括質疑を行います。いずれもケーブルテレビで放映されます。傍聴にもお出かけください。



NO 1351
2008.6.22

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
TEL 548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/